

1. 申請港概要

- 港湾管理者 岩手県
- 担当部署 岩手県県土整備部
港湾空港課
- 地元自治体 釜石市
- 釜石港は岩手県の南東部に位置する天然の良港であり、明治初期に国営製鉄所が建設されたことを契機に産業拠点として発展した。
平成15年にリサイクルポート指定を受け、循環資源の取扱いや臨海部への企業集積が進んでいる。現在は、週3便のコンテナ定期航路が開設され、利便性が格段に向上するとともに、東北横断自動車道釜石秋田線と三陸沿岸道路が全線開通し、内陸部と沿岸部を繋ぐ物流ネットワークが構築され、その結節点に位置する釜石港は、当市のみならず、岩手県経済を牽引する重要な物流拠点となっている。



国土地理院地図より

2. 申請港のサーキュラーエコノミーへの取組や貢献

○：実績
☆：計画

- 循環資源貨物取扱量は、近年、約3.5万トン程度で推移しており、鉄スクラップなどの金属くず、鉄鋼スラグや廃プラスチックなどの再利用資材などの取扱いがある。**（1 静脈物流にかかる港湾取扱貨物量がある、又は見込まれること。）**
- 釜石港臨海部周辺に立地する企業において、国内各地の製鉄所で発生した鉄鋼スラグを原料として他の港湾から移入し、肥料に再資源化しており、国内で調達可能な産業副産物の資源循環が図られている。**（4 小口の循環資源の輸送ニーズへの対応が実施されている、又は計画されていること。）**
（5 他の港湾との連携の対応が実施されている、又は計画されていること。）
- ☆ 釜石港臨海部周辺には、リサイクル関連企業が進出しており、循環資源の集積が進み、広域的な集積拠点としての機能が強化されつつある。
これらの資源を有効活用することで、地域における循環型社会の形成を図るとともに、サーキュラーエコノミーへの取組を推進してまいります。
（10 サーキュラーエコノミーへの貢献）

3. その他



写真：釜石港後背地に立地するリサイクル関連企業

■ 位置図（港湾計画図）

